

次亜塩素酸水（微酸性電解水）の上手な使い方

① 手 指

手洗いはたっぷりの量で、濡らすというより洗うという使い方が基本です。特に目に見える汚れは事前の手洗い等で取り除いてください。汚れたままだと、その汚れのために除菌能力を使い尽くして、肝心の菌やウイルスの除菌まで効果が届きません。



② 清 掃

ドアノブや人が良く触れる場所の除菌には、汚れていないペーパータオル等に次亜塩素酸水を染み込ませて拭き上げるか、スプレーで濡れる程度に噴霧して拭き上げてください。また、そのタオル等はこまめに取り換えてください。水濡れが不都合な部分には使わないでください。



③ 噴 霧

室内噴霧で加湿器を使う場合は必ず超音波式でお願いします。加熱式の加湿器では除菌成分がなくなってしまいます。



人がいる部屋（10㎡以上）では、1時間あたり200㎡の噴霧量が目安です。長時間にわたって噴霧する場合には、夜間の場合はその半分程度の噴霧量で良いでしょう。

空間噴霧の安全性について指摘する報道がありました。

念のため、正式な見解が示されるまでは、人がいる空間での噴霧はお控えください。

＜結果＞発熱者は前年比で56%に減少。原因不明の発熱者ゼロ。

細菌性肺炎もゼロ。インフルエンザ・ノロウイルスも感染者ゼロ。

次亜塩素酸水とアルコール消毒液の比較

分類	代表菌・ウイルス	アルコール	次亜塩素酸水
一般的な細菌	大腸菌群	○	○
芽胞菌	多くの食中毒起因菌	×	○
糸状菌	カビ等	×	○
エンベローブウイルス	インフルエンザ・既存コロナ等	○	○
無エンベローブウイルス	ノロウイルス等	×	○